

シグマ研究委員会 核構造・崩壊データ専門部会
核構造W.G. サブグループ会合議事録

日時： 1978.5.8(月) 13:30 ~ 5.10(水) 17:30

出席者： 宮野, 大矢(新潟大), 松本, 山村(原研)

場所： 東海研 研究2棟

議題

1. $A = 121$ のデータセットの検討

4月20日のサブグループ会合でまとめられた ENSDF作成基準に従って、 $A = 121$ の全面的な見直しを行うことになった。今回の作業対象となったのは、 ^{121}Sn , ^{121}Te の2種類である。

i) ^{121}Sn

^{121}Sn では、 ^{121}In β^- 崩壊、核反応の個々のデータセットに誤まりがかなり含まれていることがわかりその大部分を訂正した。引続き、adopted levelsについても同様の作業を行った。個々のデータセットとの関連が十分でない場合が見出され、作業の完了には至らなかった。adopted gammas については、 ^{121}In β^- 崩壊(基底状態、アイソマー)からの γ 線を主に、 (n, γ) , $(d, p\gamma)$ を補助に用いて編集をすることになった。

ii) ^{121}Te

個々のデータセットでまだ記入の誤りが残っている。Log ff や $B(E2)$ の計算で誤差のとり方に検討を要する。adopted levels への関連づけ、adopted gammas に入れるべきデータの撰択についても引続き作業を進める。

2. γ 転移の Hindrance factor の計算

β 崩壊、クーロン励起などの実験からレベルの半減期や換算転移確率が求められるが、これを理論的な γ 転移の速さと比較するためのプログラムが開発された。